

やまゆり

学校だより

令和5年11月7日
56号
学校長 杉本賢二

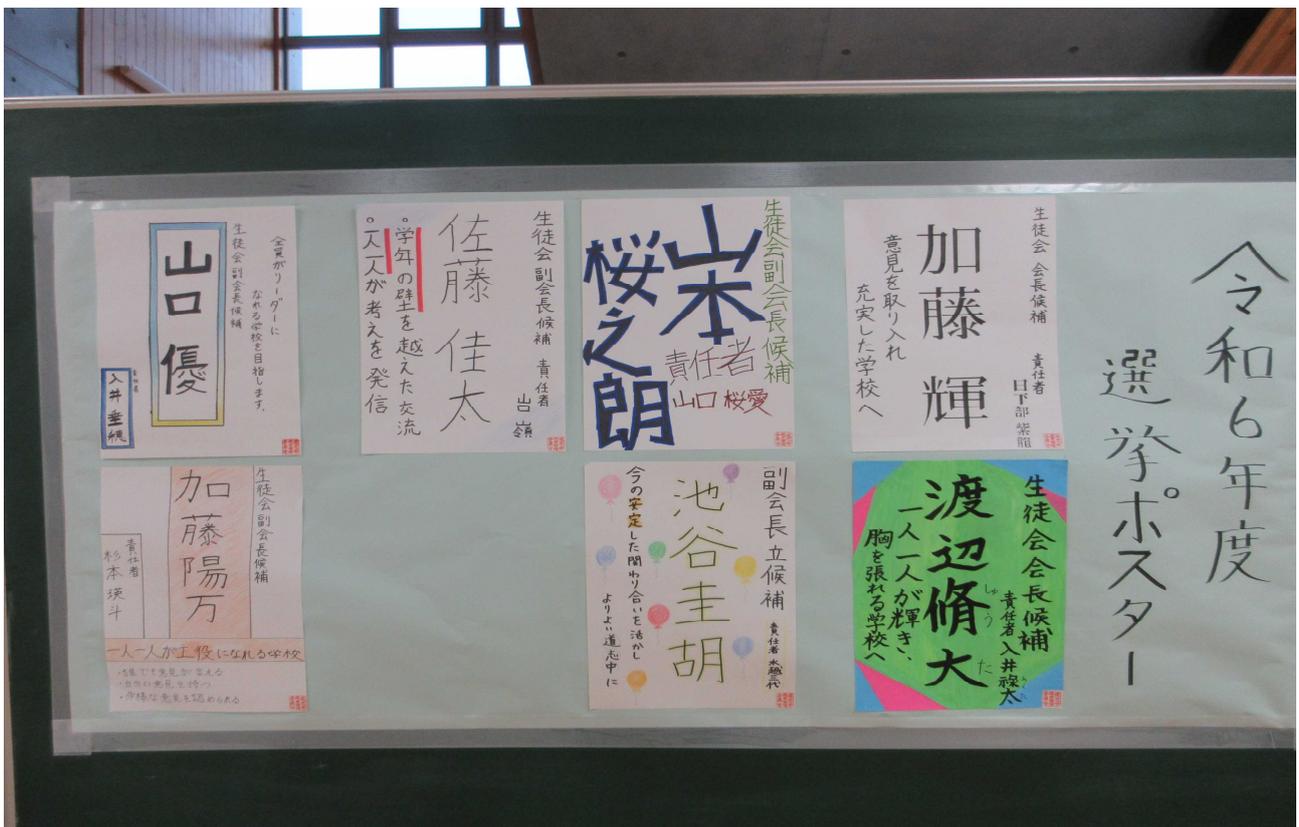
校訓	「和の心」
学校教育目標	「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究重点	「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標重点 「居心地良くやる気のある学級・学校づくり」

「生徒会役員選挙」に向けて取り組みをしています

令和6年度の生徒会役員選挙が告示され以下の生徒が立候補しました。()内は責任者です。より良い学校づくりのために、勇気と情熱をもって立候補し、責任者を引き受けてくれました。一人一人の候補者の思いを、何より大事にした選挙や投票をしてほしいと思います。

生徒会長候補	加藤 輝さん(日下部 紫龍さん)・渡辺 脩大さん(入井 祿太さん)
生徒会副会長候補 (新3年)	山本 桜之朗さん(山口 桜愛さん)・池谷 圭胡さん(水越 三代さん) 佐藤 佳太さん(山口 嶺さん)
生徒会副会長候補 (新2年)	山口 優さん(入井 垂穂さん)・加藤 陽万さん(杉本 瑛斗さん)



学校教育目標重点 「健やかな身体の育成 危険を予測し自ら回避する力」

火災による避難訓練を小中合同で行いました

本日、昼休みに「小学校理科室から出火」したことを想定し、小中合同の避難訓練をしました。
児童・生徒は速やかに屋外に避難し、全員無事に避難訓練を終了しました。

つい最近、富士吉田市で火災が発生し、亡くなった方の報道がありました。家屋6軒や自動車も数台消失したそうです。火災は、人の命も財産も全て焼き尽くします。今後は空気が乾燥し、暖房器具等によって火災が発生しやすい時期です。各家庭でもご指導をお願い致します。

消防署と連携

教頭の避難指示

教職員の指導と避難

中学生の迅速な避難



避難の後に点呼し、出席者全員を確認



小学生も避難し整然と整列



教頭に報告する各学年代表者の様子



小学校の教頭先生の司会で全体会・講評



学校教育目標 「社会に貢献する」

他校の小学校の国語科の実践から学ぶ

11月1日(水)に他地域の小学校2年生の国語科の指導を依頼され、公開授業・研究会に参加しました。小学校2年生の児童が25分間、自分で教科書の教材から「分かりやすい説明の表現」を見つける学習活動をしました。個別最適・協働的な学びという形態の問題ではなく、児童が一人で集中できる学習であることや、児童同士の規律や配慮を基盤に協働学習ができる日常指導の重要性を再確認しました。個人の活動の後には、ペアで目標を達成するための「協働」学習でした。お互いに相手に配慮しながら自分の考えを述べ合い、協力して学習をすることができました。教員2年目の若い先生が、児童と一緒に創り上げた学習はとても感動的な学習でした。

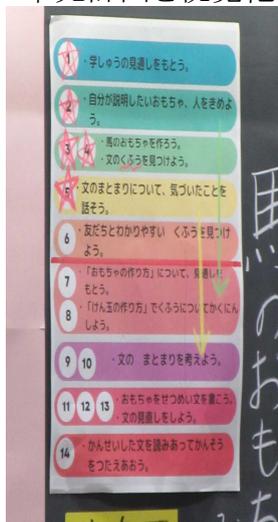
研究会では、地区の小学校の先生方が成果や課題点を協議し、各自や各校の学びに還元するために主体的に学習していました。

児童たちを若い担任の先生が一生懸命指導し、それを校内の先生方や地区の他校の先生方が支え、励ましながら指導している姿から多くの刺激と学びを得ました。

生活科で製作したおもちゃの馬を、相手を決めて分かりやすく説明する学習



単元計画を視覚化



この授業にかける気持ちが伝わりました



25分間集中して学び続けた児童



個別の学習での確かな指導



自分の考えを述べ協働する児童



○単元で指導 ○学びの必然性 ○書くために読む学習

○個別最適 ○協働的な学習

目指す教師像 「確かな専門性を身につけるために協働して学び続ける教職員」

本校の教職員と今後の教育について相談しています

教職員は、各自が設定した目標を達成するように組織で取り組みながら、専門性の向上や教職員組織の活性化を図っています。その主な成果についてお知らせしながら、今後の教育をさらに充実させていきたいと思えます。以下は、管理職面談での本校の教職員の声です。

「本校での学びやその成果」

- ICTの環境が充実していて、毎日の学習指導でICTを活用している。
- 少人数なので、個別の対応を丁寧に行っている。
- 生徒への相談体制が今まで勤務した学校のどこよりも充実し、徹底している。
- 本校独自の「学習キャリアパスポート」を活用しようと努力している。

「学習キャリアパスポートの成果として感じること」

- ・めあてやゴールが理解でき、生徒と一緒に学習活動ができる。
 - ・必然性のある課題で、主体的な学習による評価ができる。
 - ・目的意識や相手意識、自己選択や自己決定等により動機付けを高くすることができる。
 - ・点数だけでなく、学びの楽しさや充実感を実感できる。
- 校務分掌で初めての仕事で不安もあるが、相談しながら良い体験が出来ている。
 - 教職員間のコミュニケーションや協働性が高い。
 - 連携した指導で人材育成が出来ている。
 - いじめや不登校予防を徹底している。
 - 学級の雰囲気良く、生徒が明るく主体的である。
 - 生徒同士の関係や教員と生徒の関係も良好であると感じる。
 - 学級経営における「安定していて活性化した集団」づくりを学ぶ事ができた。
 - 3つの班の機能の重要性を学べたことがとても良かった。

「改善したいこと・努力したいこと」

- 教科指導の専門性を向上させたい。
- 評価に関する知識や技能を高め、指導に生かしたい。
- 道志村教育協議会等で、もっと小中連携した教科の学習をしたい。
- 校務分掌の自覚と責任を果たしたい。
- 令和の教育活動モデル事業を小中で連携し、充実させていきたい。